古文単語 本文で意味を決める ④

高校／意味の一覧なしで、本文から意味を書く

名前 _____

日付 _____

各本文の――線の語の意味を、右の「意味」欄に書きなさい。選ぶ一覧はなく、一覧表で覚えた語義を短く書きます。
その意味に決めた手がかりを、――線の語以外の本文から、右の「手がかり」欄に書き抜きなさい（10字までを目安に）。
同じ語でも本文によって意味が変わります。その本文での意味を、一覧表の言い方で書きます。

1 かへる年、正月の司召に、親のよろこびすべき事ありしに、かひなき翌朝、
……（更級日記）

意味 | 手がかり

2 公事どもしげく、春のいそぎにとり重ねて、催し行はるる様ぞいみじきや。
（徒然草・第十九段）

意味 | 手がかり

3 楫取答へてまをす、「ここら船に乗りてまかりありくに、まだかくわびしきめを見ず。御船海の底に入らずは神落ちかかりぬべし。
……（竹取物語）

意味 | 手がかり

4 ひとり灯火のもとに文をひろげて、見ぬ世の人を友とするこそ、こよなう慰むわざなれ。
（徒然草・第十三段）

意味 | 手がかり

5 さて仕うまつる百官の人々に、あるじいかめしう仕うまつる。（竹取物語）

意味 | 手がかり

6 「実方は御手洗に影のうつりける所と侍れば、橋本やなほ水の近ければと覚えはべる。
……（徒然草・第六十七段）

意味 | 手がかり

7 よろづのとがは、馴れたるさまに上手めき、所得たるけしきして、人をないがしろにするにあり。（徒然草・第二百三十三段）

意味 | 手がかり

8 ……月の興も覚えず屈じ臥しぬ。つとめて舟に車かき据ゑて渡して、あなたの岸に車ひき立てて、……（更級日記）

意味 | 手がかり

古文単語 本文で意味を決める ④【こたえ】

高校／意味の一覧なしで、本文から意味を書く

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

日付 ＿＿＿＿＿＿＿＿

赤い字がこたえです。意味は古文単語プリントの一覧表の語義で、同じ意味の別の言い方も、本文に合えば正解にします。
「任官・昇進」のように「・」でつないだ語義は、どちらか一方でも正解です。
手がかりは例で、同じ理由を示す別の語句でも正解です。「→」のあとは、その意味に決まる理由です。

1 かへる年、正月の司召に、親のよろこびすべき事ありしに、かひなき翌朝、……（更級日記）

→ 司召は官職を任命する儀式。その場の「よろこび」＝任官・昇進

意味：**任官・昇進**　手がかり：**司召**

2 公事どもしげく、春のいそぎにとり重ねて、催し行はるる様ぞいみじきや。（徒然草・第十九段）

→ 年末の公事に新春を迎える「いそぎ」が重なる＝用意・準備

意味：**用意・準備**　手がかり：**催し行はるる**

3 楫取答へてまをす、「ここら船に乗りてまかりありくに、まだかくわびしきめを見ず。御船海の底に入らずは神落ちかかりぬべし。……（竹取物語）

→ 嵐に遭う「わびしき目」＝つらい経験

意味：**つらい**　手がかり：**神落ちかかり**

4 ひとり灯火のもとに文をひろげて、見ぬ世の人を友とするこそ、こよなう慰むわざなれ。（徒然草・第十三段）

→ ひろげて読み、昔の人を友とする＝書物

意味：**書物**　手がかり：**見ぬ世の人を友**

5 さて仕うまつる百官の人々に、あるじいかめしう仕うまつる。（竹取物語）

→ 百官の人々に「あるじ」を盛大に＝饗応・ごちそう

意味：**ごちそう**　手がかり：**百官の人々に**

6 「実方は御手洗に影のうつりける所と侍れば、橋本やなほ水の近ければと覚えはべる。……（徒然草・第六十七段）

→ 御手洗の水に映る＝人の姿

意味：**姿**　手がかり：**御手洗**

7 よろづのとがは、馴れたるさまに上手めき、所得たるけしきして、人をないがしろにするにあり。（徒然草・第二百三十三段）

→ 人の「とが」は、なれなれしい態度にある＝欠点

意味：**欠点**　手がかり：**馴れたるさま**

8 ……月の興も覚えず屈じ臥しぬ。つとめて舟に車かき据ゑて渡して、あなたの岸に車ひき立てて、……（更級日記）

→ 前夜に臥した後の「つとめて」＝その翌朝

意味：**翌朝**　手がかり：**屈じ臥しぬ**